

キャンピング KYOTO

2020/11
Vol. 72

編集・発行 京都府キャンプ協会

〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 京都Y M C A三条本館内

TEL: 075-255-4709 FAX: 075-255-2087

E-mail: kyoto@camping.or.jp URL http://kyoto.camping.or.jp

2020総会報告号

『2020年度 京都府キャンプ協会 総会』

2020年度京都府キャンプ協会総会は9月5日(土) 13時～14時 京都Y M C A三条本館にて開催しました。正会員8名の出席、委任状26名で成立し、すべての議案及び報告は承認されました。



詳細は次ページへつづく

『2020年度新体制で理事会電子(書面)開催』

総会終了後、(新)理事会を書面にて開催し、会長及び役員体制について承認されました。新体制並びに詳細は以下の通りです。(敬称略)

名誉会長	千 玄室	会 長	神崎 清一	理 事	安田 公一
相談役	高谷 泰市	副会長	遠藤 浩	専務理事	中村 彰利 ※兼事務局長
相談役	黒木 保博	常務理事	小嶋 薫	監 事	柳澤 傳
顧問	浅川栄次郎	理 事	中村三之助	監 事	藤尾 実
顧問	岡本ヒロシ	理 事	濱野 一彦		

遠藤副会長、小嶋常務理事、中村(彰)専務理事、を常任理事とし、コロナ禍の中で40周年記念プログラムを計画し実行していくにあたり、40周年企画委員会や広報委員会と連携して迅速に様々なことへの対応や判断ができるよう、常任理事と神崎会長の4名で理事役員を代表して常任理事会を開催し、協議、決定していくこととする。

なお、これまで12年に渡って会長として協会運営に携わっていただきました黒木前会長には、今後も相談役としてお支えいただきますこと、感謝をもって報告いたします。



京都府キャンプ協会
会員サービスアンケートに
ご協力お願いします

設立40周年記念事業、京都府キャンプ協会の今後の活動についてのご意見をお聞かせください。ご協力お願いいたします。

同封のアンケート用紙を返送、もしくは、QRコードからアンケートフォームにアクセスし送信してください。<12月15日(火)メ切>

新型コロナウイルスに関する情報

日本キャンプ協会のウェブサイトにて、国内・海外における、キャンプや自然体験、野外活動などの団体が実施している、Covid-19に関する取り組みが紹介されています。



この夏
どうしてました?

子どものキャンプの コロナ対策ミーティング

子どもを対象にキャンプ活動を展開する団体の、コロナ対策の現状について情報交換します。それぞれの団体が行ってきた対策の工夫や取組みを共有し、各団体の今後の活動に生かしたいと思います。当日はオンラインで開催しますので、関心のある方はお気軽にお申込みください。

日程 2020年12月3日(木) 19:00~21:00

場所 zoomを利用したのオンライン開催

参加費 無料

対象 子どもを主対象とした野外活動を中心に展開する団体所属の方、
または内容に興味があり、zoomでのオンライン参加ができる方、
※京都府キャンプ協会会員、非会員を問いません

主なテーマ 今年の事業の実施状況の交換とガイドラインなどの情報交換、
個別の活動を実施する際の工夫や取組み、他

助言者 奥村正治さん(小児科医、京都YMCAリーダーOB)

主催 京都府キャンプ協会

申込み 右記QRコードよりお申込みください。

申込み切 2020年11月30日(月)

参加予定団体

ガールスカウト京都府連盟
京都YMCA
ジャパンネイチャースクール
城陽五里五里の丘
トータルアウトドアプランニング
花背山の家
ボーイスカウト京都連盟
ポジティブアースネイチャースクール
森守協力隊
友愛の丘



name

船越 義正 Yoshimasa Funakoshi

京都府災害ボランティアセンター初動支援チーム登録メンバー

京都府キャンプ協会

運営委員の紹介



キャンプ歴

50年以上

お気に入りのキャンプ場

西表島

星砂の浜キャンプ場

京都

友愛の丘キャンプサイト

キャンプと減災

私が災害ボランティアに参加したきっかけは、阪神淡路大震災でした。友人から、神戸長田地区での炊き出しに誘われ、京都YMCAの炊き出し備品の鍋やコンロをお借りして現場の避難所に向かいました。それから、ナホトカ号の原油流出事故の油の回収、東日本大震災、熊本地震、今年の19号台風の浸水被害など、被災地に向かい現地ボランティアセンターの活動に参加してまいりました。

災害には、大きく分けて地震系と水害系の2種類があり、作業の内容もそれぞれのニーズから屋根のブルーシート張りや、床下の流入土砂撤去、家財の搬出・整理、支援物資の配布・整理、炊き出し、ワークショップの運営、職業的専門性を生かした技術的活動など、多岐に渡ります。

災害ボランティアは、自己完結、自己責任、そしてライフ

ラインが制限される、あるいはライフラインに頼らない環境の中での活動となる場合もあります。被災直後ならボランティアが被災地のライフラインを使うことで、被災地の人達のライフライン(トイレひとつにしても)を圧迫してしまうことも念頭に入れておく必要があります。ライフラインが制限されても自己完結しながら活動できる、これは野外活動に関わる我々が学んで来たスキルのひとつではありませんか。

そのような意味で我々、野外活動のリーダーはセルフエイドやセルフレスキューの在り方を応用すれば、まずは自身の生活の中での災害への備え、つまり備蓄などはキャンプギア(テント・コンロ・コッフェル・寝袋・マット・ランタン・ライトなど)を整理するだけで応用の利く備えができるはずですが、その備えは、支援物資として被災地の必要な方に送ることもできる可能性があります。被災地のニーズは日々刻々と変わりますから、善意の物資が被災地の倉庫に入りきらず、その整理だけで人員が足りなくなる、といった事例はかなり減りましたが、残念ながらまだニーズとマッチングのズレはあります。

ひとつずつ、できることから…みなさんは、ご自身のお住まいの地域のハザードマップをご覧になったことがありますか? まずは点検、ご自身のお住まいの地域のハザードマップを今一度、正確に、そして鵜呑みにせず批判的にも読み込んでみてください。市区町村に問い合わせるか、ネットでも検索できるので是非お確かめください、新たな発見があるかもしれません。

お問い合わせ・お申込みは 京都府キャンプ協会

〒604-8083 京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2 京都YMCA三本館内

TEL: 075-255-4709 FAX: 075-255-2087 E-mail: kyoto@camping.or.jp URL http://kyoto.camping.or.jp

私たちは今SDGsの考え方と同じく、生き方や価値観、安全に対する考え方、共に生きることの喜びや重要性について考えることが必要とされています。そして、一人ひとりのいのちの重さや尊厳の課題について真摯に向き合うこと、人の多様性を受け入れることなどが求められています。また自然環境とエネルギーの問題についても、同様に新しい解決策が求められています。

このような諸課題に対しての早急な取り組みと共に、次代を担う子どもたちや青少年が自ら考え、新しい価値観を創り出す手段として、体験学習として代表的なものである「キャンプ」「自然体験活動」への期待がますます大きくなっています。

さらには日本各地で起こる自然災害、そして現在の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)による禍から、新たな生き方や生活習慣が求められ、価値観の変容にせまられています。

私たちは、その期待に応えるべく、キャンプのもつ教育的価値を再検証し、期待される指導者ならびに指導法についての見直しも求められています。

地域や団体や機関との連携や協力、日ごろ私たちが計画・実施しているキャンプのあり方、指導者の養成、キャンプの様々な報告や発信についても同様です。私たちが「大好きな」キャンプをあらためて見つめなおし、大切に育て、社会に発信することが、必要なのではないのでしょうか。

京都府キャンプの現状を踏まえ、2020年に迎えました40周年に向けて、企画委員会を立ち上げ、委員会を中心にしつつ、新たな人財や力を得、計画を検討し実施いたします。

また、キャンプ活動の普及とともに、広報誌やホームページを始めとした広報の強化をはかっていくものとします。

1. キャンプの普及活動として、以下の事業に取り組みます

- ① 広報
 - 協会の公式ウェブサイトの運営
 - キャンピング京都(会報誌)を年3回発行
 - 外部委託も検討し発行
 - 広報委員会を中心に計画、実施する。
- ② 普及事業
 - 花背山の家主催事業(10月)などへの協力他
- ③ キャンプ愛好者や会員が集えるプログラムの企画実施

2. 協会運営および事業への参画者の拡充と指導者の資質向上、協会の基盤強化

- ① 委員会および普及事業への参画者拡充策として、会員交流、貴重な野外活動体験につながる例会など、企画への助成事業を検討する。
- ② キャンプに関する事業の定期的実施(月例会の実施)
- ③ 会員交流、会員懇談会などの企画実施
- ④ 事務局機能の再構築
- ⑤ 協会設立40周年を迎える年だが、新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、参加される方々の安全を第一に考え、2021年度内での開催に向けて企画委員会を中心として検討、計画を進める

3. 日本キャンプ協会、地域協会をはじめ関係団体との協力・連携

- ① 日本キャンプ協会事業およびブロック会議へ積極的に参加・参画
 - 近畿ブロックの幹事県としての役割
- ② 「関西野外活動ミーティング2021」への協力(3月)
- ③ SNSを利用した広報活動の強化
- ④ 花背山の家で行われている「自然体験活動」に参加・協力(10月)

第5号議案 2020・21年度理事選任

協会規約第4章8条に基づき、理事を選任しました。敬称略順不同

理事	神崎	清一		
理事	中村	三之助		
理事	遠藤	浩		
理事	安田	公一		
理事	濱野	一彦		
理事	小嶋	薫		
理事	中村	彰利	兼事務局長	
監事	柳澤	博		
監事	藤尾	実		

第6号報告 2020年度委員委嘱報告

協会規約第17条により理事会は次の会員を委員として委嘱しました。敬称略順不同

運営委員会

森下	克徳	吉田	穂積	岩西	敬一
濱野	一彦	船越	義正	竹川	尚美
宮西	恵津子	中村	彰利		

40周年企画委員会

神崎	清一	濱野	一彦	船越	義正
吉村	元宏	竹川	尚美	中村	彰利

広報委員会

神崎	清一	小嶋	薫	森下	克徳
中村	彰利				

開催情報

キャンプインストラクター養成講習会

今年度、京北町、滋賀県高島市、城陽市の各地において、以下の日程でキャンプインストラクター養成講習会を開催予定です。
お知り合い、興味をお持ちの方にぜひご案内ください!!

開催地	京北町
日程	2020年11月28日(土)~29日(日)
会場	あうる京北(京都府ゼミナールハウス)、京都市京北森林公園
宿泊	あうる京北

開催地	マキノ高原(滋賀県高島市)
日程	2021年1月23日(土)~24日(日)
会場	マキノ高原キャンプ場
宿泊	民宿白鳥

開催地	京都市・城陽市
日程	2021年2月23日(火・祝)
会場	下京青少年活動センター
日程	2021年2月24日(水)~26日(金)
会場・宿泊	友愛の丘(京都府野外活動総合センター)

●各日程の参加費などの詳細は、決定次第京都府キャンプ協会ウェブサイトにて掲載いたします。

URL <http://kyoto.camping.or.jp>

第1号議案 2019年度事業報告

I. 会員数186名(2020年5月31日現在)

- A キャンプ・インストラクター資格 102名
- B キャンプ・ディレクター2級資格 48名
- C キャンプ・ディレクター1級資格 36名

II. 指導者資格認定事業 未実施

III. 指導者養成事業

笠置町雇用創造協議会より、指導者派遣を受託しインストラクター養成講座として開催

日程: 9月7日・14日・28日・29日

会場: かさぎいこいの館、笠置キャンプ場

講師: 黒木会長・遠藤理事・濱野理事・船越委員

前田健世氏、前田次世氏、宮西氏、中野氏、吉村氏

IV. 主催事業(月例会)、受託事業(月例会兼)

4月(月例会) 4月21日(日)

「竹の子掘りと野外料理」BUC認定事業

会場: 青少年野外活動総合センター友愛の丘

内容: 竹の子掘りと野外料理

参加費: 大人1,500円/高校生まで1,000円

参加者: 6名

担当者: 濱野理事

6月(月例会) 6月15日(土)

「これからのキャンプ!教育における野外活動」

会場: 京都YMCA会議室

講師: 荒木寿友(立命館大学院教職研究科教授)

参加者: 13名

担当者: 中村委員

8月(月例会) 8月22日(木)

「びわ湖でカヌー体験」BUC認定事業

会場: 京都YMCAサバエキャンプ場

内容: オープンデッキのカナディアンカヌー、一人乗りのカヤック体験など

参加費: 大人3,500円/小学生1,500円/幼児1,000円

参加者: 11名

担当者: 中村委員

10月(受託事業) 10月26日(土)

花背山の家「自然大好きフェスティバル」

会場: 京都市野外活動施設「花背山の家」

内容: 「勾玉作り」100セット準備 完売

参加費: 材料費300円

担当: 竹川・吉田各委員・会員2名

V. 会議

理事会: 2019年6月10日(月) 19時～

京都YMCA三条本館

総会: 2019年6月15日(日) 13時～

京都YMCA三条本館

VI. 運営委員会

2019年4月8日、5月13日、6月17日、
7月22日、11月15日、12月18日

2020年1月8日、2月17日、3月11日
計9回

京都YMCA三条本館 午後7時～9時

VII. 協会設立40周年記念企画委員会、広報委員会

2019年6月15日、12月18日

2020年1月8日、2月17日、3月11日

VIII. 協力事業

京都府立洛北高等学校附属中学 防災プログラム

講師: 船越委員

IX. 事務局事業

1. ホームページの更新

X. 団体登録

1. (公社)日本キャンプ協会
2. 京都青少年ゆめネットワーク「ゆめっと京都」
3. 京都府青少年育成協会
4. 京都はぐくみネットワーク
5. 京都市教育委員会「花背山の家」運営委員会委員
6. (公財)京都市生涯学習振興財団

XI. 日本キャンプ協会

1. 第23回日本キャンプミーティング
6月8日 黒木会長
2. 近畿ブロック会議
9月8日 黒木会長、神崎副会長、岡本顧問、
竹川委員

第2号議案 2019年度決算

第4号議案 2020年度予算

京都府キャンプ協会2019年度収支決算書(自2019年4月1日至2020年3月31日)及び2020年度予算案は満場一致で承認されました。

収入の部

	科目	19決算	20予算	摘要
1	会費	401,000	400,000	登録費を含む
2	寄付金	0	0	
3	事業収入	105,400	100,000	講習会・月例会・他
4	雑収入	60,001	100	預金利息
5	補助金	0	0	
	当期収入合計	566,401	500,100	
	繰越金	1,734,484	1,581,852	
	合計	2,300,885	2,081,952	

支出の部

	科目	19決算	20予算	摘要
1	会議費	75,366	50,000	総会・日本協会総会・近畿ブロック他
2	旅費交通費	45,280	50,000	日本協会関連会議・近畿ブロック関連他
3	事業費	114,879	150,000	講習会・月例会・BUC他
4	事務費	83,734	180,000	郵送費・消耗品他
5	雑費	99,774	50,000	
6	会員交流費	0	200,000	
7	積立金	300,000	200,000	
	当期支出合計	719,033	880,000	
	予備費	0	1,201,952	
	収支差額	1,581,852	0	
	合計	2,300,885	2,735,981	

監査報告

2019年度事業及び会計について、監査の結果適正かつ正確なることを証明致します。

2020年6月22日 監事 柳沢 傳 監事 藤尾 実

第3号議案 2020年度事業計画

京都府キャンプ協会2020年度事業計画は満場一致で承認されました。

私たち京都府キャンプ協会は、1980年の設立以来40年にわたり、府下のキャンプ事業に関わる団体や行機関、ならびにキャンプ事業に携わる指導者の皆さんとともに、キャンプの発展と指導者の養成と結集を願って、会員の方々によって運営されてきました。